

平成 26 年度第 3 回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 26 年 10 月 18 日（土）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員 21 名中 15 名出席、ガイドヘルパー1名
事務局 7 名（緑保健福祉センター所長、高齢障害支援課 3 人、社協緑区事務所 3 名）
千葉市地域福祉課 2 名

【次 第】

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 第 3 期緑区地域福祉計画について
 - (2) 平成 26 年度緑区地域福祉計画の推進について
 - (3) 「みどりのきずな」第 2 4 号の承認について
- 3 その他
- 4 閉会

【議事及び質疑要旨】

議題（1）第 3 期緑区地域福祉計画について

事務局より、第3期緑区地域福祉計画について説明した。
主な発言内容は以下のとおり。

（事務局）皆様のご協力により承認された第3期緑区地域福祉計画に基づき、各地区部会エリアの重点取組項目の策定にあたり、各エリアにより出席者は異なりますが、地区部会・民生委員・地区連協・自治会等の出席者より説明会や打合せ会議を開催し、協議により重点取組項目が決定した。まず、最初に「おゆみ野地区部会エリア」での取組項目について、資料の2ページにある具体的な取組み4「高齢者が集う場の開設・拡充」に決まった。昨年度より散歩クラブを立ち上げたばかりで、開催回数に限られている状況である。参加者の中に遠方の方も多く、今後、ボランティアを確保し、活動場所の増や開催数の拡充を図っていくため重点項目とした。次に、「椎名地区部会エリア」での取組項目。1点目として資料の3ページにある具体的な取組み11「地域と学校との交流」に決まった。当地区は、以前から椎名小学校とあいさつ運動はじめ漢字パワーアップ支援授業等実施しているが、更なる連携を図るため、地域住民との新たな取組みの拡充を

図っていくため重点取組項目とした。2点目として資料の6ページにある具体的な取組み38「見守り活動の推進」である。当地区の高齢化率は、平均すると約26.1%であるが、高いところでは33%を超えている町内自治会が数カ所ある。今後、増加する高齢者に対する見守り活動の取組みが重要となるので、今行っている見守り活動の経験から拡充の必要性があるので、重点取組項目とした。続いて、「誉田地区部会エリア」での取組項目。資料の6ページにある。具体的な取組み38「見守り活動の推進」である。当地区の高齢化率は、平均すると約28.1%であるが、30%を超えている町内自治会が数カ所ある。今後、増加する高齢者に対する見守り活動の取組みが重要となるので、重点取組項目とした。また、子どもに対する危険防止を含め、併せて見守り活動をおこなっていく。最後に、「土気地区部会エリア」での取組項目。資料の6ページにある具体的な取組み38「見守り活動の推進」である。当地区の高齢化率は、平均すると約22.6%であるが、高いところでは40%を超えている町内自治会が数カ所ある。当該地区は新旧住民の2極化されている地区であり、今後も、高齢者や若い世代が増加することから高齢者及び子どもの危険防止を図るため、併せた見守り活動の取組みが、重要であることから重点取組項目とした。以上が第3次緑区地域福祉計画の各地区部会エリアの重点取組項目である。なお、今後については、各地区部会エリアで3年間での重点取組項目の進行管理方法の具体化作業（活動主体・活動内容・目標値など）について平成27年3月末までに各地区部会エリア関係団体と相談しながら策定していきたい。

質問なし

議題（2）平成26年度緑区地域福祉計画の推進について

松戸副委員長の進行により各委員から活動報告があった。

主な発言内容は以下のとおり。

（松戸副委員長）資料5に沿って進めたい。おゆみ野地区から順番に報告してもらいたい。

（中村委員）おゆみ野地区部会は2点ある。1つはふれあい散歩、もう1つは障がい者のお楽しみ会にしている。ふれあい散歩は5月20日に実施した。第2回は11月10日に開催する。第3回は平成27年3月3日を予定している。障がい児を対象にしたお楽しみ会は7月に流しそうめんを実施した。9月19日におしゃべり会をおゆみ野公民館で実施した。障がい児をもつ親の情報交換の場となっており5名の参加だった。12月14日には鎌取コミュニティセンターでお楽しみ会を実施する。障がい児を対象に催し物を開催する。

（田宮副委員長）11月23日24日におゆみ野地区の文化祭を鎌取コミュニティセンターで行う。是非参加してほしい。

（松戸副委員長）10月19日に鎌取コミュニティセンター3階でクラシックコンサートを行う。そちらも是非参加してほしい。

- (本田委員) 椎名地区の報告を行う。別紙2を見てもらいたい。まず子どもと地域住民の交流である。学力強化授業支援・食育授業支援を実施した。ふれあい事業としては10月16日に高齢者の食事会に椎名小学校6年生が訪問して交流をした。伝承遊びは11月に予定している。次にお元気確認委員会としては2か月に1回会議を開催しボランティアの情報交換をしている。10月10日には淑徳大学松園教授の講演会を開催した。
- (峰村委員) 土気地区部会の報告を行う。ふれあい食事会を月2回実施した。7月8月は食中毒予防のためお休みした。いきいきサロンは19箇所毎月開催している。散歩クラブは月2回、4地区で行っている。子育てサロンは月2回開催しているが多くの方が参加しているため会場が手狭になっている。また地元中学校3年生の子育て体験教室として子育てサロンと共催した。11月23日は昭和の森でウォークラリーを開催する。
- (野崎委員) 土気地区連協の報告を行う。45自治会のうち20地区で自主防災組織を立ち上げている。防災マップについては地域づくり助成金の申請をしている。A4版だと小さいサイズになるのでA3版で作成する。土砂災害ハザードマップを地域振興課からもらい、連協役員に配布し検討している。また村田川の浸水ハザードマップも連協役員に配布している。9月には1万分の1の白地図にハザードマップのマークを落とし込んでいく作業を地図会社に依頼した。土砂災害については緑区には危険区域は78か所ある。特別警戒区域は緑区に25あり、その半分は土気地区になる。マップに落とし込んでいきたい。
- (江澤委員) 民生委員の実態調査で認知症の疑いの高齢者が昨年度から増えている。徘徊高齢者の対策を考えている。あんしんケアセンターで見守り会議をしているが、町内会長が1年で交代するのでなかなか進まない。505地区ではあんしんタオルを作成している。パトロールは中学校で実施している。
- (関本委員) 誉田地区の報告を行う。1つ目として障がい者に配慮した避難所づくりをしている。2つ目として町内自治会未加入者に対して避難所運営委員会で対応策を検討している。3つ目は高齢者の買い物支援を考えている。4つ目は誉田小学校を中心とした昔遊びを行っていく。
- (鴨委員) 精神障がい者家族会の支援。緑区でひきこもっている方のために広報誌を年2回発行している。また例会を第3土曜日に緑保健福祉センター2階ボランティア活動室2で開催している。9月例会は30名以上の方が出席した。引きこもりの障がい者に地域の生活に溶け込むための支援をどうしていくべきか話をした。東京から家族会の理事に来てもらい考え方を聞いた。
- (廣田委員) 障がい者の普段の生活をなるべく知ってもらいたいと思い活動している。10月になってから千葉市文化センター市民サロンで障がい者作品展を行った。作品展には185名から244点の作品が出品された。多くの方が参加してもらえた。12月6日にハーモニープラザで障がい者福祉大会がある。11月の市政だよりで告知が載ると思う。是非参加してほしい。

身体障害者連合会では小学校や中学校で障がい者の話をさせてもらう活動を継続して行っている。学校関係者とコンタクト取れる方がいれば連絡してほしい。209-3281まで連絡して欲しい。障がい者当事者の連携を図っていききたい。しかし障がい者がどこに住んでいるのか分からないので難しい。障がい者同士でも他の障がいを理解するのは難しいところがある。去年はカラオケの交流会を実施した。

- (岡本委員長) 江澤委員に質問したい。高齢者調査はどのように行っているか。
- (江澤委員) 5月から6月に民生委員として行っている。高齢者本人に直接会って面接すると前年度より認知症の方が増えているのを実感している。
- (事務局) 高齢者調査は千葉市からお願いしている。65歳以上の方の世帯状況・体の状況を確認してもらっている。
- (岡本委員長) それは知っている。認知症の方の特別の調査報告をしているか知りたかった。
- (本田委員) 民生委員の補助制度が千葉市では行われている。どのくらい進んでいるのか。
- (事務局) 7月1日の民生委員の協力制度がスタートしている。市全体で100名程度いる。主に見守り活動の手伝いをしてもらっている。
- (岡本委員長) 廣田さんに情報提供したい。障がい者の出前講座については福祉教育ニュースを年2回社協で発行しているのでそれを活用して宣伝するのもいいと思う。
- (事務局) 他団体の記事が載せられるか確認させてほしい。
- (岡本委員長) 是非お願いしたい。
- (岡本委員) あんしんケアセンター鎌取の報告をしたい。別紙3を見てほしい。町丁別で75歳以上の割合を提示した。おゆみ野中央3丁目が高い割合をしめしている。児童の数も確認すると、おゆみ野南4丁目ですどもの割合が高い。高齢化率が高いところは小中学生の割合が低い。その地域の方は実感されていると思う。町丁別ではなくて自治会別で欲しいところである。要介護の認定率を加味できれば検討資料になると思っている。
- (松戸副委員長) おゆみ野中央4丁目は高齢化率が高いと自治会内でもPRしている。しかし今のところ響いていない。
- (烏山委員) 誉田あんしんネットワークを2か月に1回行っている。本日も午前中に行った。誉田地区の7つの老人会に顔を出すことを進めている。地域の清掃などして状況を確認できた。認知症高齢者と家族を対象にオレンジカフェを6月から実施している。場所が悪いのかなかなか参加者が増えない。あんしんケアセンターは地域割りで区内を3つに分けているが、地域割り関係なく参加してもらってOKなので誘い合っしてほしい。ただし送迎がない。

議題（3）「みどりのきずな」第24号の承認について

田宮副委員長より、「みどりのきずな」について説明した。

主な発言内容は以下のとおり。

（田宮副委員長）今回から左綴じで横書きにした。

（鴨 委 員）カラーに出来れば非常にいいと思う。予算的に難しいか。

（田宮副委員長）サロン一覧の網掛けは見にくいのでやめた方がよい。今回は最終ページに広報誌の感想を求めることにした。

その他

（岡本委員長）見守り活動の手引きを作成した。見守り活動小委員会を復活したい。

（鴨 委 員）障がい者の偏見をなくす小委員会を立ち上げてほしい

（岡本委員長）事務局と相談していきたい

（地域福祉課）第3期地域福祉計画の市民説明会について説明する。市民への周知と意見募集を目的に市民説明会を11月16日に開催する。説明会では概要と各論を説明する。質疑応答の時間もある。説明会には岡本委員長に事務局として参加してもらおう。地域福祉活動に携わっている方以外にも参加してもらいたい。チラシを友人等に配布してもらい多くの方に参加してもらいたい。民生委員や地区部会にも配布している。10月22日に市連協にも配布し11月1日市政だよりで周知する。あと区役所窓口でもチラシを配布している。

（事務局）資料7を見てほしい。事業の進捗状況、11月末までの活動を事務局に12月8日までに送ってほしい。次回は12月20日の午後2時からこの会場で行う。

委員長が閉会を宣し、第4回緑区地域福祉計画推進協議会は散会。